

「肝疾患における治療反応性と予後に関する遺伝子素因の研究」へご協力をお願い

「消化器疾患の診断と治療に関する遺伝子解析のための試料保存」

「消化器疾患の病態に関する遺伝子等解析のための試料保存」でご協力頂いた患者様へ

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学保健管理センター 教授 岩崎良章

分担研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

消化器・肝臓内科学 臨床准教授 池田房雄

当科では 2003 年 3 月より継続して入院，外来受診された患者様に「消化器疾患の診断と治療に関する遺伝子解析のための試料保存」「消化器疾患の病態に関する遺伝子等解析のための試料保存」のご協力を頂いております。書面で同意を頂きました患者様の試料を使用の際にはその都度，岡山大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会でのその研究の倫理性や科学的妥当性を審査され了承を得た後，検体を活用させて頂いております。

現在当科で行っている研究課題は以下の通りです。

研究課題名

肝疾患における治療反応性と予後に関する遺伝子素因の研究

研究対象

対象となっている患者様（試料）は 2003 年 3 月より当科で入院歴のある「消化器疾患の診断と治療に関する遺伝子解析のための試料保存」「消化器疾患の病態に関する遺伝子等解析のための試料保存」で同意を頂いた患者様の内，慢性肝炎，肝硬変，肝癌，脂肪肝，自己免疫性肝疾患の患者様（試料）です。肝疾患患者における遺伝子多型（遺伝子の微小な変化）の検索を行い，治療の効き易さや病気の経過に影響を及ぼす遺伝子素因を同定し，新たなバイオマーカーとして活用するとともに新たな治療戦略の確立に役立てることを目的としています。

何れの研究においても個人情報情報は外部に漏れることが無いよう厳重に管理しております。

上記研究の結果が直ちに患者様に有益な情報をもたらす可能性は余り高くありません。むしろ、このような研究の成果は今後の医学の発展に関するもので、その結果、将来あなたのご家族を含めて、消化器疾患の診断や予防・治療などがより効果的に行われるようになる可能性が期待されます。ご本人がどうしても解析結果を知りたいとご希望される際は、ご本人にのみ解析結果をお知らせすることができます。

また、もしこの研究に検体を使用しないことをご希望の方がおられましたら下記までご連絡下さい。

本研究に関するお問い合わせ

岡山大学保健管理センター

教授 岩崎 良章

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1 岡山大学病院消化器内科 TEL086-235-7219